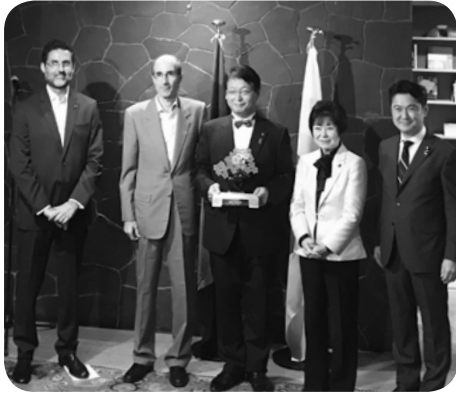


With KONAN
ニュース
No.14

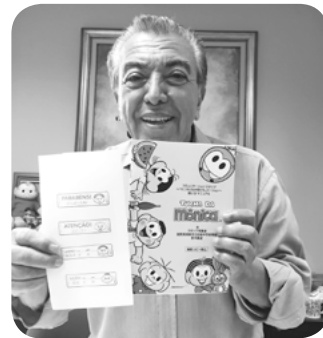
「AMIGODO BRASIL賞」を受賞

9月6日にブラジル連邦共和国大使館公邸(東京都)でブラジル連邦共和国独立記念日レセプションが開催され、「AMIGODO BRASIL賞」受賞のため、湖南市長が招待されました。

この賞は、ブラジル人との共生施策を進めている自治体の長に今年初めて贈られるもので、静岡県浜松市、群馬県大泉町、愛知県豊橋市、湖南市の4市町長が受賞しました。



▲アミーゴ・ド・ブラジル賞受賞式の様子

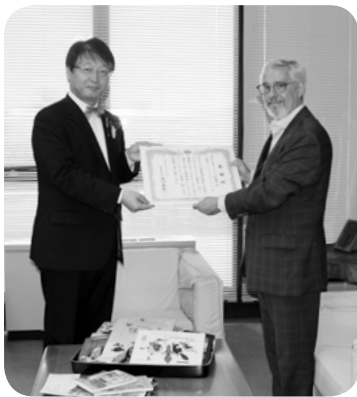


▲マウリシオ・デ・ソウザさん
提供:マウリシオ・デ・ソウザ・プロダクションズ

湖南市では、今日に至るまで様々な多文化共生施策に取り組んできました。その代表的なものに、日本語初期指導を目的とした「さくら教室」をはじめとする子どもたちへの学習支援があります。3年前に、当時日枝中学校の教員が、ブラジル人の保護者や子どもたちとのコミュニケーション手段として作成したスタンプのことが、ブラジルの国民的漫画「モニカ&フレズ」の作家マウリシオ・デ・ソウザさんの耳に入り、感銘を受けられたことから、マウリシオさんが作成したキャラクタースタン

プを市内の小・中学校にプレゼントされ、大きなニュースになりました。その後、このスタンプは全国に拡がり、ポルトガル語以外の言語でも作成されるなど、多文化共生の大きな進展に繋がる取組となりました。このことをきっかけに、マウリシオさんは2度湖南市を訪れ、日本での生活をわかりやすく描いたハンドブックの寄贈や、外国人市民とのイベントなどにより、交流を深めています。

また、在名古屋ブラジル総領事のビテンクール総領事も、市内



▲ビテンクール総領事

の教育施設の視察や、ポルトガル語の図書の寄贈などを通して、様々な支援をしてくださっています。総領事とは、今後も外国人の教育環境向上に向けた連携交流を深めていくこととなっています。

湖南市は滋賀県で一番外国人比率が高いまちです。そのような環境下で、知らないうちに子どもたちにはグローバルな感覚が身につく、お互いを認め合い、助け合う気持ちが生まれます。また、地域においても、お互いの力をうまく生かすことにより、とても大きな力が生まれます。他のまちにはないこれらの特徴を生かし、これからも全ての人々が湖南市で暮らしてよかったと思えるようなまちをめざして、多文化共生の施策をより一層推進していきたいと考えています。

個人権擁護課(西庁舎)

☎ 77・8511 FAX 77・4101